



## 東京学芸大学 養護教育講座

### シンポジウム 「いのちの大切さを考える教育」

東京学芸大学 養護教育講座では毎年「いのちの大切さを考える教育」というテーマのシンポジウムを開催しています。今年度は5回目となり、益々充実した内容となっています。

#### シンポジウムの趣旨

これから教員になろうとする学生、現在、教諭あるいは養護教諭である者にとって、人間の生命や生と死について、子どもたちにどのように教育するかは、重要な課題になっています。保護者やいろいろな場で子どもにかかわる大人や一般の方々の関心も高いと思われます。

すでにいくつか「いのちの教育」「いのちの学習」の実践が行われていますが、私たちにとっては未知の領域であり、授業実践などもまだ模索の段階であるように思われます。そのほかにも、生命倫理やがん、難病など重篤な病の体験の語りなど、さまざまなアプローチが可能なのではないのでしょうか。

そこで、人間、とくに子どもたちのいのちや生死に関わって仕事をされている方から、「いのちの大切さを伝える教育」についてのお話を伺い、まず大人である私たち自身がこのことを深く考えるきっかけや教育・学習を行ううえでのヒントを得たいと思っています。シンポジストによるご講演を拝聴いただいた後、自由な意見交換を企画しています。

シンポジウムは以下の日程で行います。「いのちの教育」に興味のある、学生、教諭、養護教諭や一般の方々の参加をお待ちしております。是非ともご参加ください。参加費は無料です。

**2月9日(土) 13時～16時 東京学芸大学 合同棟1階会議室**

#### シンポジスト

##### 副島賢和 先生 院内学級教師

病気やけがで入院中の子どものために、病院で授業を行う「院内学級」。そこで病気の子どもに寄り添い、授業をされている副島先生から、「いのち」を考えるさまざまな視点をお話いただきます。

##### 西牧謙吾先生 国立特別支援教育総合研究所・医師

病弱教育の専門家の立場から、病気の子どもの現状と課題ならびに、学校と地域社会で病気の子どもを支えるうえでの在り方をお話いただきます。

\* 出席される場合は、事前に下記あて、お申込みください。

申し込み内容：氏名、所属、連絡先メールアドレス

主催：東京学芸大学 養護教育講座 朝倉 隆司、竹鼻 ゆかり

問い合わせ、申し込み先：東京学芸大学 養護教育講座 竹鼻 ゆかり

東京都小金井市貫井北町4-1-1

e-mail: takehana@u-gakugei.ac.jp

